

# こころ

第114号

2026年5月  
3月定例会

議会だより



## 目次

審議結果（臨時会）	2.3	今年の注目事業	4.5
審議結果（定例会）	8	VOICE	16

# 注目事業

2月  
臨時会

2月5日（木）に第1回臨時会を開催し、承認1件、議案2件、同意1件を審査した結果、全て承認、可決、同意された。

## 令和7年度一般会計補正予算（第7号）

可決

補正額 **1億7,268万円** 補正後予算額 **48億8,988万円**

重点支援地方交付金活用事業についてお知らせします。

### 重点支援地方交付金活用事業について

資料

重点支援地方交付金（令和7年度補正予算）の追加を受け、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者および事業者に対して支援を行う。

【本町交付限度額：99,070千円（うち食料品特別加算分21,713千円）】

#### <事業1>

事業名：**甲良町くらし応援券交付事業**

事業内容：3/1時点本町に住民登録のある世帯 約2,700世帯を対象に、1世帯15,000円の道の駅で使用できる商品券を交付 ※お米などの食料品購入支援  
商品券の使用は令和8年4月～12月  
商品券の発送は令和8年4月初旬

事業費：約42,161千円

#### <事業2>

事業名：**住民税非課税世帯重点支援給付**

事業内容：令和6年度甲良町非課税世帯に対する物価高騰支援給付金の受給世帯（812世帯）かつ、3/1時点で住民登録のある世帯に1世帯あたり1万円の給付金を支給する。  
給付の時期は、令和8年4月（予定）

事業費：約8,300千円

#### <事業3>

事業名：**上水道基本料金の免除**

事業内容：令和8年4月～令和9年3月までの一年間、上水道基本料金を免除する。  
主に一般家庭で使用する13、20、25mm口径で2,617件を対象とする。

事業費：約49,424千円

#### <事業4>

事業名：**各字公民館省エネ家電買換促進事業**

事業内容：地域住民の身近な憩いの場であり、非常時には避難所としても使用する各字公民館のエアコンを省エネ性能の高いものに更新することで、エネルギー価格高騰による負担軽減を図る。補助額は、1施設50万円を上限とする

事業費：約6,000千円

事業総額：	105,885,000円
交付限度額：	99,070,000円
一般財源：	6,815,000円

全 員 賛 成

専決処分につき、承認を求めることについて（令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第6号））

令和7年度甲良町一般会計補正予算（第7号）

甲良町監査委員の選任につき、同意を求めることについて 阪東 佐智男氏（下之郷）

賛否がわかれたもの

	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤		
指定管理者の指定の議決内容の一部変更について	●	○	●	○	●	○	○	○	●	-	可決

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

甲良町議会議員役職名簿

令和8年2月5日～

総務民生 常任委員会	◎ 西澤 伸明	○ 木村 誠治	丸山 恵二
	藤居 吉也	福原 守	
産業建設文教 常任委員会	◎ 山田 光義	○ 木村 修	野瀬 欣廣
	西川 誠一	小森 正彦	
予算・決算 常任委員会	◎ 福原 守	○ 藤居 吉也	西澤 伸明
	木村 修	野瀬 欣廣	西川 誠一
	小森 正彦	山田 光義	木村 誠治
議会運営委員会	◎ 小森 正彦	○ 福原 守	西澤 伸明
	西川 誠一	山田 光義	

◎：委員長 ○：副委員長

# 今年の注目事業

3月  
定例会

ここでは議会が注目した新年度の事業を7つピックアップして紹介

## ふるさと応援プロジェクト事業



ふるさと納税の寄附額増額をめざし返礼品の改良や掘り起し、また本町の魅力のPR番組制作、ハンドブックの作成。

予算 403万円

## (仮称)甲良町防災センター整備 基本構想・基本計画策定支援業務



災害時において町行政を停滞させず業務を継続するためには現在の本庁舎の老朽化および狭小化の状況ではその役割が果たしきれない恐れがある。(仮称)甲良町防災センターを整備するにあたり、防災センター機能と本庁舎機能を合わせて整備することの可能性と必要性についても調査し、本町に必要な施設整備計画を策定する。

予算 1,986万円

## 住宅対策事業(宅地用地確保事業)



移住・定住促進のための住宅用地開発に係る開発許可申請に伴い農振除外手続きおよび地元協議を進める必要があるため、開発に係る必要な資料作成、また今後の開発申請において資料作成・基本設計・測量業務についてコンサル業者を選定する。

予算 3,494万円

## 甲良町イベント事業委託



行政、商工会、観光協会等で実行委員会を立ち上げ町制70周年記念イベントの流れを基本として秋ごろに開催予定で、2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟」で藤堂高虎公が登場することから、出生地である甲良町としても対外的にPRする場とする。

予算 400万円

令和  
8年度

# 厳しい財政のなかでの予算決まる

令和8年3月定例会が、3月5日（木）から3月23日（月）までの会期で開催され、令和8年度の予算は、予算・決算常任委員会に付託され審査が行われた。

## 地籍調査事業



地籍調査のようす

現在、法務局にある公図（地図）は、大半が明治時代の作成で境界や形状などが現実とは異なっている場合が多い。地籍調査が実施されることにより、法務局の登記簿記載が修正され公図（地図）更新される。現在、金屋地区が実施中。

予算 1,687万円

## 甲良町総合防災マップ作成委託業務



現在の防災マップ

最新の情報に合わせ、河川等の流水を流下させる能力を超える洪水であっても町民の生命を守り、甚大な被害を回避するため作成される。10月末に原案作成・公表。

予算 594万円

## 子ども子育て応援事業委託(子どもの学力向上支援・保護者支援事業)



昨年の事業のようす

令和7年度に実施した就学前の子どもへの保護者に対する調査においても、学力向上支援施策や相談支援、保護者間の交流支援等のニーズが示されたことから、本事業を継続的に実施する。

予算 878万円

# 予算決算常任委員会Q&A

3月11日（水）、12日（木）に開催された予算決算常任委員会での主な質疑を掲載

**Q** 歳入の寄付金のふるさと応援寄付金について、14,000千円の減額になったが、返礼品競争のようになり、返礼品の人気の問題もあるが、町のアピール不足ではないか。

**A** 返礼品に重きを置いていたが、令和8年度は町のPRを強化したい。プロジェクト委員会を立ち上げ、その意見を取り入れながら、テレビ放送などの活用やイベント会場でのPRを行っていききたい。

**Q** 国庫補助金のデジタル基盤改革支援補助金29,232千円について、標準化に伴う国の交付金と一致するか。

**A** また、ランニングコストは、自治体負担か。

**A** 標準化にかかるデータ移行が対象で、令和8年度に本稼働を迎えるシステム分とそれに伴うパソコン、プリンタ設定経費等が含まれている。

また、ランニングコストについては新たな補助金の話があるが、計画を作ってから補助金が出るため当初予算に計上はない。

**Q** 土木費の事業費が落ちてきているが、地元業者育成の面から事業をつくるべきでは。

**A** 社会資本整備事業補助金の範囲を超えては事業を行わず、緊急性の高いものから取りかかっている状況である。大きい工事については入札だが、200万円までの工事については随意契約で、地元業者で見積合わせをしている。



**Q** 国民健康保険税の当初予算額の前年との差額25,581千円は、県の統一化に向けた改正分と子ども子育て支援金の加算分か。

また、世帯数および収納額の推移について、令和3年に比べて令和6年は減となっており、課税の対象となる世帯が減っていると思うが状況・見解は。

**A** そのとおりである。また、世帯数、被保険者数も減少し、人口減少しているが低所得者の高齢者が増えており、働き盛りの人が国保から社会保険に切り替わるのが要因とのこと。

**Q** 後期高齢者の医療保険料の令和8年の当初予算が令和7年度と比べて16,300千円増額だが理由は。

**A** 国民健康保険と同じで、子ども子育て支援金分と医療の高度化や診療報酬の改定があり、全体の医療費が増え納

付金として納める額が増えるため、納付金の財源となる保険料も増額となる。

**Q** 現在の配水池の日量と、有収率の状況と何%引き上げか。

**A** 配水池能力7,100tに対し、甲良町全域で一日当たり2,500tから2,600tが冬場の数値で、夏場については3,000tを超えない状況が続いているため、最大2,800t前後程度が実績値になるとのことであった。有収率については人口減少を含め、施設管理をしながら漏水調査をしているが、昨年決算時84%弱であり、甲良町と同規模同施設が85%程度のため、徐々に年1%ずつ上げていき85%を目標にする。

※有収率とは、供給した総給水量のうち、料金徴収できた量（有収水量）の割合。

# 令和8年度各会計当初予算

(単位：千円)

会計・区分		令和8年度	令和7年度	増減率
一般会計		4,175,000	4,343,329	△ 3.9%
特別会計	国民健康保険特別会計	955,288	925,892	3.2%
	墓地公園事業特別会計	1,621	1,925	△ 15.8%
	介護保険事業特別会計	1,108,640	1,054,862	5.1%
	後期高齢者医療事業特別会計	123,839	104,408	18.6%
特別会計予算合計		2,189,388	2,087,087	4.9%
公営企業会計	下水道事業会計	670,593	647,296	3.6%
	収益	345,082	313,880	9.9%
	資本	325,511	333,416	△ 2.4%
	水道事業会計	259,713	277,007	△ 6.2%
	収益	169,300	174,936	△ 3.2%
	資本	90,413	102,071	△ 11.4%
公営企業会計予算合計		930,306	924,303	0.6%
<b>総予算合計</b>		<b>7,294,694</b>	<b>7,354,719</b>	<b>△ 0.8%</b>

※公営企業については、収入支出が同額でないため、支出ベースで記載。

## 審議結果

賛 否	議員名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤		
一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	－	可決
国民健康保険特別会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	●	－	
墓地公園事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	－	
後期高齢者医療事業特別会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	●	－	
下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	－	
水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

全 員 賛 成

甲良町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
甲良町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	
甲良町介護保険条例の一部を改正する条例	
甲良町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	
甲良町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	
甲良町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	
甲良町社会教育委員設置に関する条例の一部を改正する条例	
令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第8号）	
甲良町教育委員会委員の任命につき、同意を求めることについて	近藤 敬彦氏（北落）
甲良町議会会議規則の一部を改正する規則（案）	

賛否がわかれたもの

	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤		
甲良町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
甲良町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	●	○	○	○	○	○	●	-	可決
令和7年度 甲良町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	●	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
副町長の選任につき、同意を求めることについて 加藤 貴也氏	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	同意

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

副町長 選任 令和8年4月1日～



氏名：加藤 貴也

生年月日：昭和47年8月13日 住所：滋賀県守山市 最終学歴：広島大学  
 経歴：平成9年に滋賀県庁に入庁。人事課、郵政省近畿郵政局、林務緑政課、農政課、南部土木事務所、監理課、循環社会推進課、総合病院を歴任。

あいさつ：副町長という要職をお預かりし、決意を新たにしております。これまで培ってきた行政実務の経験を生かし、寺本町長をお支えするとともに、職員の皆さんと力を合わせ、町民の皆様のため全力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。

一 般  
質 問

# 町政のここが知りたい! 聞きたい!

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長などに方針を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
10	◎農業経営の安定化と気候変動対応について ◎経済構造と人権理解を踏まえた人権教育の在り方について	きむら せいじ 木村 誠治
11	◎町長公約のその後の検証について ◎教育行政について	きむら おさむ 木村 修
12	◎広報こうらの空家・空地バンクについて ◎甲良町空家等対策計画について	ふじい きちや 藤居 吉也
13	・保健福祉センターについて ・総合運動公園について ・道の駅について ◎ふるさと納税について ◎企業誘致について ・空き家・空き地バンクについて	にしかわ せいいち 西川 誠一
14	◎呉竹公営住宅の移転について ◎両地域総合センターの児童生徒人権推進事業について ・保・幼・小・中学校での子どもたちへの人権学習について	やまだ みつよし 山田 光義
15	・带状疱疹予防ワクチン接種について ◎学校給食無償化の継続について ◎住民による清掃作業負担について ・重点支援地方交付金活用事業の具体化について ・町立図書館の維持管理について ・新ごみ処理施設整備事業について ・「戦争させない・平和の心」を大切にしたい取り組みを	にしざわ のぶあき 西澤 伸明

◎印の質問を掲載しています。

# 問 気候変動と 農業への影響認識は

答 耐候性品種への転換が必要



木村 誠治 議員



大豆被害圃場

**問** 近年の農業は、気候変動による収量の不安定、資材価格高騰、担い手不足など大きく変化している。  
特に水田農業においては主食用米に依存する経営は将来的リスクも大きい。町として収量変動リスクや作物選択、営農継続への影響をどのように認識しているか。

**答** 令和7年産は猛暑と雨不足により米は品質低下、大豆は収量が減少し壊滅的な地域もあった。米の数量は平年並みだが一等米比率が低下し、大豆は基準収量を大きく下回る団体が多数あった。価格は一時高騰したが今後は下落見込みであり、高温耐性・多収新品種への転換が必要と認識している。

# 問 人権教育の現状は

答 思いやり重視の人権教育

**問** 近年、人権問題は個人意識だけでなく、雇用環境、所得格差、生活基盤など社会構造とも関係すると指摘されている。またSNS等の情報環境により先入観や思い込みも生じやすい。このような中、経済状況や社会構造と人権の関係について本町ではどのような観点で教育が行われているのか。

**答** 社会情勢の変化があろうとも、いかなる場でも人権は保障されるべきと考えている。本町では人と関わりながら生きる社会の中で、自分も他者も大事にし、異なる価値観や背景を持つ人の立場に立って

考えられる人づくりを  
目指した人権教育を行っている。



対話集会

## 問 町長の公約の その後を検証する



木村 修 議員

**答** 一步一步着実に進んでいるし、  
尼子駅前宅地は必ず出来ると確信している

**問** 産業集積地（旧大林組土地）の進捗状況は。

また、当初の方法に戻し単独事業として再考してはどうか。

防災センターの建設・尼子駅前住宅用地創出事業計画の進捗は。

**答** 産業集積地は、県事業の候補地から外れたため、滋賀県産業立地課と定期的な面談を行い、用地に関する手続き・手法等の確認、進捗管理を今現在行っている。

また、選ばれた3候補地の県事業とは別に個別に県の支援をいただけるながら取り組んでいる。



いる。選考に漏れている時点で町の単独事業である。

防災センターは、令和8年度で基本構想と基本計画を一括発注し、実施計画を作成する。

尼子駅宅地開発は、現在受益除外の法的な手続きが完了し、県営か

んがい排水事業の計画変更の確定がされたところで、農振除外の申請手続き・基本設計委託に向け設計図書作成中です。

就任して2年ちょっとだが一步一步着実に進んでいると思っっている。尼子駅前宅地は必ずできると確信している。

## 問 町内小・中学校における

### 不登校・いじめ問題の増減は

**答** 小学校では不登校もいじめも減・

中学校では不登校もいじめも増

**問** フリースクール・夜間中学とは。町内小・中学校における不登校、いじめの増減は（不登校を調べたら、2024年度で不登校35万4,000人／全国、いじめは76万9,000人／全国）。

**答** フリースクールとは、不登校の子ども達、学校に通えない子ども達に学びの場を提供する民間施設。夜間中学とは夜間に中学校の全教科を学ぶ事ができ、卒業資格が得られる学校の事です。

町内小学校は不登校もいじめも減、中学校は不登校もいじめも増で若干増えている。中学校においては子ども達の状況を見て対応している。

園においては統合予定をしているが、小・中学校においては考えていない。そのまま継続していく方が少人数の学習ができるなどメリットは大きい。



# 問 甲良町空家・空地バンク農地登録について



藤居 吉也 議員

## 答 空家に付随する場合農地も登録可能

**甲良町空家・空地バンク 新着物件①**

当町の空家・空地バンク情報登録制度では物件のある地区に最初に図説させていただいておりますので、広報誌発行時点で売却契約が成立している場合があります。

所在地	甲良町大字下之郷2275番、2275番-1、2320番、2321番 (同上) 2319番、1347番 (同上)	物件番号	20251101
用途	田・畑		
区分	売地・賃貸	売地	
資料・連絡先	売却資料	売却価格	198万円
建築道路	3力道路		
土地状況	田：6,365㎡ (0.63ha) 約6.4区 畑：120㎡ (0.012ha) 約0.12区		
特記事項	農業委員会への申請書・名義書き換え手数料が必要です。 農地は3筆および地域の農業協会の農業事務の受付を願います。		

【問合せ】 企画総務課 空家・空地担当 ☎38-5061

【答】 要綱の中にあるただし書の部分、ただ

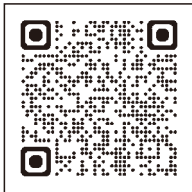
【問】 「甲良町空家・空地情報登録制度要綱」では、空地とは町内に存する空地で個人が所有し、現に利用していない土地であって、個人が居住を目的とした建物を建築することができる土地をいう。地目は宅地に限定する。ただし、空家に付随する場合この限りでないところがあるが、農地が登録されているのはどうか。

【答】 ※国、県の施策で農地中間管理機構という団体を作られ、兼業

し、空家に付随する場合はこの限りでない」というところで、農地付空家についても、本町の空家・空地登録情報制度の中で活用しているが、下之郷の農地の1件については、農地のみを取り扱いをしてしまっていたことが分かりましたので、今後はこのようなことがないように課内で共有していく。

農家等でリタイアされて出てきた農地を集積して、営農組合、認定農業者等に機構を通じて農地を貸すという仕組みを作った。

農地を集約することにより営農の効率化を図り、また、耕作放棄地等を出来るだけ防止するという目的に対し、町の空地バンクで、現在機構と契約している農地を扱うというのは問題があると思われる。



甲良町空家・空地情報登録制度要綱

## 問 空家等

### 対策計画について

【答】 特定空家、それ以外の空家に対し除却の補助金あり

補助金あり

【問】 甲良町空家等対策計画で空家の状況として、令和5年度に162件となっていたが、現在の状況は。

の162件の内、特定空家が3件あり、また、令和7年に1件判定され合計4件になり、その内1件が除却された。

また、甲良町空家住宅等除却支援事業補助金の支援内容とその利用状況は。

【答】 令和5年の調査以降、厳密な推移については把握できていない。令和5年の調査で空家

特定空家の除却支援としては、対象経費の5分の1、上限50万円を補助。特定空家以外の空家は除却費用の20%、40万円が上限です。実績として令和6年1件、令和7年に2件となっている。

甲良町空家住宅等除却支援事業補助金交付要綱

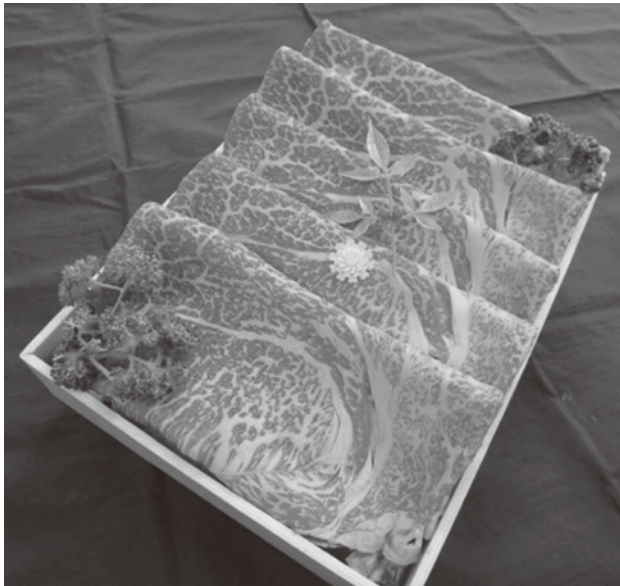


## 問 ふるさと納税の 現況と展望は



西川 誠一 議員

答 2月末で607万円、6月頃から近江牛を再開



**問** ふるさと納税は、町として一番有難い納税だが年々下がっている。豊郷町は約5億円、彦根市も大分増えている。寄附額増収に向けて新しい返礼品開発はどうなっているのか。

**答** 返礼品の一番はキヌヒカリ10kgでした。令和7年10月に、ふるさと応援寄附金プロジェクトを立ち上げ課題の整理、目標額の設定、PR方法等の検討をしている。6月には近江牛の返礼品提供店が再開予定で大いに期待している。

## 問 新規オープン企業は 何社あったか

答 法人設立企業は5社

**問** 進出企業は何社で、企業誘致の引き合いは何社あったか。半導体産業は無理でも政府の地域未来戦略本部に過疎の町を救う要望、陳情を積極的に町

長、課長も強く訴えてほしい。

**答** 法人税設立届を出した企業は5社で、誘致企業の引き合いは残念ながらもなかった。町

として大きな課題なので県には新しい副知事にも引き続きお願いしている。国にも地元国会議員を通じて常々お願いしている。



## 問 呉竹公営住宅の移転について



山田 光義 議員

## 答 呉竹東川原の公営住宅の4軒とも移転については承諾を得ている

**問** 呉竹公営住宅（4軒）の移転について、数年前からの住宅問題である。

方向がどのように動いているのか、この住宅問題を解決することは、同対事業の本当の後始末だと思う。平地にした後の東川原公営住宅の後地についての進捗は。

**答** 現在の呉竹東川原の公営住宅の4軒の移転について、令和6年度に議会でも報告したが、その4軒とも移転については承諾を得て



いる。2軒が公営住宅、2軒が旧の改良住宅へ移転する。旧の改良住宅はそのまま入れる状態ではないので、改修工事の見積もり中です。

あの4軒を除却した土地の有効活用については、前の議会で報告した通りだが、国の方にも除却費用の補助金を出して貰えるように要望活動を町長を先頭に行っているとあります。

令和8年度から国の動きがあると考えており、町長としても1つずつきれいにしたい。

## 問 両センターの児童生徒

### 人権推進事業について

## 答 子どもを守り育てる会を中心に部落解放小6合宿（長寺）小5・6・中3合宿（呉竹）を開催している

**問** 昨年の12月で人権三法（障害者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法・部落差別解放推進法）が10年目を迎えることになった。

本町には同和地区があり、地域の活動によってこの法律が活かされると思う。

解放の拠点の両センターにおける児童・生徒の人権推進事業（町補助金）の事業内容、成果と課題は。

また、部落差別をなくす人材育成がなされているのか、両センターの専門員の位置付けは。

**答** 長寺センターは部落解放小6合宿を青年

達が発導者となり、本質的な差別解消をめざし、長寺子どもを守り育てる会等のメンバーで仲間づくりや人権感覚の向上を図るため、講義や地域内のフィールドワークを行っている。

呉竹センターは小5・小6・中3の解放合宿を、小5は地域の先人の地をフィールドワークという形で学び、小6合宿は指導者による人権劇から色々な角度で学習している。

中3は近隣高校の先生から具体的な高校の話聞いて自分の進路について、見つめる取



り組みを中心に行っている。成果は部落差別をはじめとする差別の現実を学び、仲間づくりの大切さを学校生活に活かす事ができている。課題は全体的に参加率が下がっている状況です。

今後は開催時期の見直しや、参加呼びかけの工夫が必要であると考えています。指導者不足については親の参加協力や合宿を経験した高校生らの勧誘を図る。

専門員（教員）は地域の教員としてセンターの職員と一緒に課題に向き合い協議をして取り組んでいます。



西澤 伸明 議員

## 問 中学校も 給食無償化の継続を

答 令和10年度以降の中止を決定している

**問** 学校給食費の無償化は、本町が先陣を切り、感謝の声も大きく、県下でも実施する自治体が増え、この要望に押され、国がやつと令和8年度から小学校について補助を出すことになった。その制度の概要の説明を。

**答** 子育て支援に取り組む自治体を支援する観点から、都道府県を通じ市町に配分される国2分の1、県2分の1。交付基準額は1か月1人5,200円の11か月。本町の給食費は、今年4月から月5,200円になることから、保護者の徴収はない。



また、中学校給食法で保護者の負担とする法律がありながら、政府としては、保護者の負担を軽減するために自治体に交付し、徴収しないということから、法律上、実質的には制限がなくなってくるので、中学校についてもぜひ無償化を継続できるように努力していただきたいがどうか。

また、中学校の無償化について議員の考えも分かるが、教育委員会としては、令和9年度でいったん終わると決定している。ただ、国が今後中学校にも無償化をやっていたらいいのであればありがたい。

## 問 町事業で整備された 川掃除は町の責任で

答 一度、関係者で相談したい

**問** 住民の皆さんによる清掃作業、特に川ざらいについて、去年、在士の区長さんから要望が出されています。高虎公園の前、業務スパーから尼子川の在士から尼子の領域までの間、石積みがあるが、区民がだんだん高齢になり朝8時から始まって、終わったのが12時過ぎていた。泥上げ、脇の雑草、石積みの間に生えた雑草の除去は大変である。「せせらぎ遊園のまづづくり」として整備してきたことでもあり、これはぜひ町の作業として位置づけをしていただきたい。町の責任で清掃することの検討をお願いしたい。

**答** せせらぎ遊園のまづづくりとして整備してきたが、ご指摘のとおり、それが負担になっているのは認識している。基本は農地の維

持に付随する水路の管理はダム事務所であり、区長さん、農村まるとの代表と相談させていただきます。



# VOICE

## 町民の声 Episode.13



### ● 次世代の子どもたちへ

「できる」か「できない」ではなくて、どうすれば「やりたい!」が叶えられるか、思考力を身に付けていきましょう。

### ● 住みたいと思う町づくりへ

地産地消を意識して、地域に循環を生み出し、活性化させていく。

そして、地元の「好き」を増やしていこう。

“ I LOVE KOURA ”

### ● 町・町議会への提案

一人ひとりが主体的に生きるための学びを、町全体へ一緒に届けていきましょう。

令和8年4月1日より、教育委員に就任いたしました。全てのことから気付き学ぶことを日々意識し、皆様と共に良い甲良町を築いていきます。



氏名 こんどう たかひこ 近藤 敬彦さん  
(北落)

## 6月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

月日	内容
6月 2日	全員協議会
5日	開会・一般質問
8日	一般質問(予備日)
9日	委員会(予備日)
16日	閉会

なお、都合により日程が変更になる場合があります。

会期日程、議会議録などは、ホームページでも公開しています。

※事前申し込みは不要です。



議員生活も2年が経過し、本町の経済状況や、少子高齢化、過疎地域などの課題をこれまで以上に考える機会を得た時間でした。

私は、甲良町で生まれ育った人間として、町内の子どもの出生率の低下、それに伴い、小学校に入學する子どもが年々減少していくなど、寂しさを感じています。在住の高齢者の方や、町を支える人材の確保、活気ある甲良町にしたい。そんな思いを強く持っています。

町の課題の一つひとつに、町民のみなさんの声を聴かせていただきながら町行政に声を届け、形あるものにする必要性を感じているところです。

甲良町は、農村地帯の広がる歴史あるきれいな町です。町民のみなさんが、より安心して住みやすい町を目指したいと考えています。

(福原 守)

発行責任者  
議会広報特別委員会

議長 丸山 恵二  
委員長 小森 正彦  
副委員長 福原 守  
委員 山田 光義  
藤居 吉也  
木村 誠治

あ  
と  
が  
き